

小中一貫教育推進室だより

平成 27 年 6 月 26 日

1 古蔵中学校小中一貫教育グループ実践紹介

目 次

1 古蔵中グループの実践紹介	P1
2 上山中グループの実践紹介	P2
3 神原中グループ特別支援学級交流会	P2
4 生徒指導主事連絡協議会 講演会	P3
5 金城中学校の取り組み	P3
6 小中一貫教育コーディネーター研修会	P4
7 主な予定	P4

本格実施グループの 小中合同研修会・交流活動 を紹介



古蔵中グループ 生徒指導部会での取り組みの確認



古蔵中グループ 授業研究部会での取り組みの確認

今年度、本格実施になりました古蔵中学校小中一貫教育グループ(古蔵中・古蔵小・城岳小)では、5月29日(金)に古蔵小学校において合同研修会を実施しました。研修会の具体的な流れの内容は次の通りです。

- 1 開会のあいさつ・・・古蔵中学校長 上原保之
- 2 研究テーマに沿った講演
演題 『「確かな学力」を育むノートづくり』
講師 前里 哲寿(沖縄県立総合教育センター指導主事)



- 3 全体会 前年度の経緯の確認(前年度部長より説明)
授業研究部会・・・古蔵小教頭 宮里 晋
交流活動部会・・・城岳小教頭 真喜志 隆夫
生徒指導部会・・・古蔵中教頭 松島 良規
- 4 分科会 各部会の取り組みの確認
- 5 全体会 各部会の協議報告
- 6 閉会のあいさつ・・・古蔵小学校長 平安山 敏和

研修会では、前半に沖縄県立総合教育センターの前里哲寿指導主事を講師に迎え、統一テーマ「思考力・判断力・表現力を育てるノート指導」の視点から「なぜ言語活動の充実なのか」「授業改善のために」等の説明を交えて、『「確かな学力」を育むノートづくり』についての共通理解を深めました。

後半は、今年度の取り組みの共通確認を行っていましたが、運営の工夫として、初めに、昨年度の準備段階の取り組みの説明を昨年度の各部会部長の教頭が行い、全体で確認が行われていました。この説明で、今年度、転任してきた職員も小中一貫教育の取り組みの経緯が理解できたようです。

この後、3つの部会に分かれて、各部会の取り組みについての協議が行われ、再び全体会で、共通実践の共通確認が行われました。

古蔵中学校グループも、小中一貫教育の本格実施がスタートしています。

本格実施グループの

小中合同研修会・交流活動
を紹介



小中合同研修会の様子（上山中グループ）



「互いを知る」ために、部会冒頭でアイスブレイキングを取り入れる（上山中グループ）



神原中学校グループ特別支援学級交流会
自校紹介の様子（5月29日）



神原中学校グループ特別支援学級交流会
大玉転がしの様子（5月29日）



神原中学校グループ特別支援学級交流会
風船運びの様子（5月29日）

2 上山中学校小中一貫教育グループ実践紹介

平成27年5月29日（金）、上山中学校において、上山中学校小中一貫教育グループ（上山中・天妃小・開南小）の第1回小中合同研修会が開催されました。

小中一貫教育が本格実施になった同グループでは、小中一貫教育に係る具体的な取組についての現状と課題について、グループ独自で作成した「進捗状況一覧表」をもとに討議がなされました。

研修会の具体的な流れの内容は次の通りです。

司会：金城豪樹（小中一貫教育コーディネーター）

全体会 15:00～15:15

- ① グループ校校長あいさつ……………上山中校長 宮城祥子
- ② グループ校長・教頭・各部長紹介
- ③ 本日の研修の流れの説明

各部会 15:20～16:05

- ① 進捗状況の報告
- ② 今後の取組について

全体会 16:10～16:45

- ① 各部会報告
- ② 指導助言……………指導主事 稲福政彦
- ③ 総括……………天妃小校長 與儀 茂

各部会とも前年度で決定した各部会の具体的取組内容について、グループ校によって取組状況にばらつきがあることが確認されました。今後、充実した取組になるよう、その解決策について、活発な意見交換がなされ、その取組について後半の全体会で確認され、有意義な研修会となりました。

3 神原中学校グループ 特別支援学級交流会

5月29日（金）神原中学校小中一貫教育グループでは、特別支援学級の小中交流会が次の内容で開催されました。

ねらい

神原中校区の小学校2校と中学校の特別支援学級に在籍する児童・生徒が集い合っ、レクリエーションをすることで、人的交流の体験を深めたり、その楽しさを味わわせたりする



交流会は、中学生が上手に司会を行い、会が進行しました。

初めに、中学生のお兄さん、お姉さんが自己紹介を行い、それを見習って、神原小、壺屋小の児童の自己紹介が行われました。

レクリエーションでは、大玉転がしと、風船運びが行われ、小学生と中学生が楽しく交流していました。中学生が小学生を優しくリードしている様子がみられ、温かい交流会となりました。

この交流は、24年度から継続しており、中学入学時の安心感が生まれています。

4 小中合同の生徒指導主事連絡協議会 講演会

5月28日(木)、第2回小中学校生徒指導主事連絡協議会が開催され、小・中学校の生徒指導主事54名が参加しました。協議会では、本市小中一貫教育アドバイザーの屋部文幹氏が、「効果的な小中連携の在り方」というテーマで、義務教育9年間を見通した生徒指導・教育相談の必要性について講話を行いました。

講話内容について、当日の配付資料から一部抜粋し、ご紹介いたします。

- 1 「小1プロブレム」「中1ギャップ」「高1クライシス」等の校種間に起きている問題を解決するために、子どもの発達をつなぐという視点に立ち、日頃からの管理職を中心とした情報連携と、教職員の前向きな情報共有が必要である。
- 2 不登校や問題行動への対応について、小・中学校それぞれで押さえておきたいこととして以下の点が挙げられる。
 - (1) 基礎的情報の収集 = 児童生徒を正しく理解する
 - (2) 生徒指導体制(役割分担)による対応 = 複数対応
 - (3) 学習面・対人関係の改善 = 自己有用感・自己存在感の醸成
 - (4) 長期休業中の取組 = 教育相談、サマースクール等
 - (5) 不登校児童生徒への個別対応
- 3 小学校から不登校や問題行動を起こす要因がそのまま中学校でも継続していることが多く見られるが、中学校に入ったら「学校に戻りたい」「自分を変えたい」と考える生徒もいる。中学校側はそれをチャンスと見なし、機会がある毎に小学校からの対応等の情報を学ぶ事が重要である。

小・中学校の生徒指導主事は、研修を通して児童生徒の発達をつなぐ視点から、小中一貫教育、小中間が連携した児童生徒理解の在り方を考える機会となりました。また、教育の連続・継続という視点から、児童・生徒の発達を理解することの意義とそれに伴う小中一貫教育の大切さ[Reset(リセット)ではなく、Continue(継続)]を理解する機会となりました。

研修会終了後、参加者からの感想の一部をご紹介します。

- 小学校と中学校の職員が本音の対話を行うことで、子どもたちの中学校生活において大きく影響するということが、改めてわかりました。今後は中学校と密な連携を図りながら進めていきたいと思えます。
- 子どもたちが高校に行くまで(場合によっては社会人になるまで)責任を持って見守る必要があることを知った。
- 小中一貫教育に関しては、互いの校種に対する理解が必要。生徒は確かにリセットされていないので、もっと情報の交換が必要だと思った。
- 各小・中学校の連携で、不登校・いじめ・その他の問題行動の対応策で良くなった具体例などを知りたい。

5 金城中学校の取組 保護者への啓発

5月24日(日)、金城中学校の日曜授業参観日が行われました。喜屋武浩司校長より保護者に授業参観の視点が配布されましたので一部を抜粋しまして、ご紹介いたします。

本日の日曜授業参観においては、お子様の学習の様子を参観される際に、本校が取り組んでおります共通実践事項について見ていただくと幸いです。

授業参観の視点(共通実践事項)

- 2 学習規律(態度)を整える(小中一貫教育共通実践)
 - (1) 「み・そ・あ・じ」の実践
 - (2) その他 ①1分前黙想 ②聞く態度 ③支持的風土づくり)
- 3 学習指導を工夫する(小中一貫教育共通実践)
 - (1) 「話し合い」と「書くこと」の指導
 - (2) 「思考力・判断力・表現力を育む授業展開」
 特に授業においては、「思考力を促す発問」を心がけています。

離れた学校間でも、9年間の義務教育の中で、計画的・継続的に教科指導及び生徒指導が展開されていることを、授業参観で保護者等に実感していただくよい機会になったと考えております。小中一貫教育推進室では、このような「保護者・地域への啓発活動」の先行事例を随時紹介していきたいと考えております。

H27.5.24 (日) 日曜授業参観(学校説明会)資料

ここを見て下さい! 授業参観

保護者の皆様、おはようございます。本日は、休日にもかかわらず授業参観及び学校説明会にお越しいただきありがとうございます。

本校では、授業参観や学校説明会などを通して多くの保護者に授業(学校)を見て頂き、学校の取り組みを理解して頂く大切な機会と考えております。

ご存じのとおり、本校及び校区小学校では平成26年度から「小中一貫教育」(那覇市全校実施)を進めているところです。

本日の日曜授業参観においては、お子様の学習の様子を参観される際に、本校が取り組んでおります共通実践事項について見ていただけますと幸いです。

▶ 授業参観の視点(共通実践事項)

1 学習環境を整える。

<教室環境>

- ① 教室内の掲示物(分かりやすく、メッセージがある)
- ② 机・椅子の整頓状況(縦横は並んでいて、椅子が中に入っている)
- ③ 個人ロッカーの整頓状況(基本的の片付けができています)

2 学習規律(態度)を整える。

<小中一貫教育共通実践>

- ① 「み・そ・あ・じ」の実践
 - ◎ みたしなみ(制限の着こなし)
 - ◎ 掃除(行き届いたそうじ)
 - ◎ あいさつ(立ち止まり、心を込めて)
 - ◎ 時間のけじめ(開始と終わり)
- ② その他
 - ◎ 1分前黙想
 - ◎ 聞く態度
 - ◎ 支持的風土づくり

3 学習指導を工夫する。

<小中一貫教育共通実践>

- ① 「話し合い」と「書くこと」の指導
- ② 「思考力・判断力・表現力を育む授業展開」

特に授業においては、「思考力を促す発問」を心がけています。

※ 「比較してみよう」「権限を説明してみよう」「別の見方を考えてみよう」など、ペアで意見や考えを交わしたり、学級全体で様々な考えを出し合い理解を深めるように心がけています。

※保護者の皆様の声をお聞かせ下さい。 ※ 本日の授業参観や学校説明会で感じたことやご意見があれば、別紙のコメント用紙にご記入の上、回収箱にお入れ下さい。

6 第2回小中一貫教育コーディネーター研修会

6月1日(月) Web-meeting 会議システムを活用して第2回小中一貫教育コーディネーター研修会が開催されました。本格実施グループの10名のコーディネーター(中学校教諭)が参加し、小・中学校間のコーディネートの在り方についての研修を行いました。下記に講義の概要をご紹介します。

(1) 小・中学校間のコーディネートの内容はおおむね次のものである。

- ① 小・中学校間の連絡及び調整
- ② 小中一貫教育に関する小・中学校教職員の相談窓口
- ③ 小中一貫教育に関する教育的支援
- ④ 関係機関・他小中一貫教育グループとのネットワークづくり

(2) 小中一貫教育を円滑に推進していくためには、編成した組織(「校長・教頭・コーディネーター会」「コーディネーター。部長会」等)を機能させ、取組の進捗状況の確認とともに教職員や保護者・地域への小中一貫教育に関する啓発活動を積極的に行うことが重要である。

(3) 小・中学校の管理者には「報告・連絡・相談」を適宜行い、併せて各部長や他の教職員に協力を求め、チームとして業務を進めること。

(4) グループ校の児童生徒の学びの連続を意識した取り組みを効果的に行うために、学習指導に関する部長と各校の校内研究主任と連携できるようコーディネートしていく。また、市学力向上推進事業の「小中合同授業研究会」では、小・中学校が共通して取り組んでいる内容を基盤とした「共通の視点」づくりを行うことが大切である。

研修会の後半は、コーディネートの現状と課題、効果的な「小中連携授業」「乗り入れ授業」の在り方について活発な意見交換が行われました。今後も小中一貫教育コーディネーターとの情報交換を密に行い、コーディネートの向上を図っていきたくと考えております。



Web-meeting 会議システムを活用しての全体研修会



10人のコーディネーターが、離れた場所で同時に研修

7 主な予定 (小中一貫教育関連)

<6月(後半)予定>

- 6月24日(水) 真和志北ブロック校長会
- 6月25日(木) 中学校授業参観・情報交換会(鏡原中グループ)
- 6月26日(金) 小中合同授業研究会(小禄中学校グループ)
生徒指導情報交換会(寄宮中学校グループ)
- 6月29日(月) 小中合同授業研究会(小禄中学校グループ)
- 6月30日(火) 小中合同授業研究会(石田中学校グループ)
真和志北ブロック教頭会説明会

<7月予定>

- 7月3日(金) 小中合同授業研究会(金城中学校グループ)
- 7月7日(火) 第3回校長連絡協議会
- 7月8日(水) 首里ブロック校長会
小中合同授業研究会(鏡原中グループ)
- 7月9日(木) 小中一貫教育コーディネーター研修会
- 7月10日(火) 児童生徒理解部会情報交換会(那覇中グループ)
- 7月15日(水) 真和志北ブロック校長会
- 7月17日(金) 1学期前半終了
- 7月24日(金) 小中合同研修会(石田中グループ)
- 7月27日(月) 小中合同授業研修会(城北中、寄宮中グループ)
交流活動:水泳教室(金城中グループ)
- 7月28日(火) 小中合同研修会(神原中、金城中、小禄中、安岡中グループ)
- 7月29日(水) 小中合同研修会(首里中、石嶺中、古蔵中、鏡原中グループ)
- 7月30日(木) 交流活動:リーダー研修会(鏡原中グループ)
- 7月31日(金) 小中合同研修会(上山中グループ)
交流活動:リーダー研修会(小禄中グループ)



2015年6月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
87	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				



2015年7月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	